

# 令和4年度第1回玉野市男女共同参画推進審議会会議録

日 時：令和4年8月30日（火）10：10～11：20

場 所：玉野市役所 大会議室

出席者：委員15名、事務局5名

## 1. 開会

## 2. あいさつ（玉野市長）

## 3. 委嘱状交付

## 4. 自己紹介

## 5. 役員選出

## 6. 議 事

- (1) 男女共同参画行政の概要（令和3年度実績・令和4年度計画）  
（事務局より資料に基づき説明）

### 1. 玉野市共同参画プランの進捗状況

#### P.1～P.8

- (1) 令和3年度実施実績

平成29年3月策定「第4次たまの男女共同参画プラン」の基本目標と重点目標に対する令和3年度の実績報告について

#### P.9～P.21

- (2) 令和4年実施計画

令和4年3月に策定「第5次たまの男女共同参画プラン」の基本目標と重点目標に対する各課の事業の概要について

#### P.22

- (3) 女性の施策方針決定の場への参画状況（令和4年の現状報告）

- ①各種行政委員会への女性登用状況（令和4年4月1日現在）

女性比率 23.3% <グラフ参照>

令和3年度と比較すると－1.3%と伸びていない状況

#### P.23

- ②女性公務員の登用状況（令和4年4月1日現在）

○玉野市職員数

全職員総数のうち 女性比率 39.1%  
管理職のうち 女性比率 9.4% 令和3年度と比較 +1.6%

※「第5次たまの男女共同参画プラン」の目標値は12%

○市職員の育児休業取得状況

令和3年度 女性100% 男性66.7%

※「第5次たまの男女共同参画プラン」の男性取得率目標値 30%

P. 24

③各種審議会等への女性登用状況 (令和4年4月1日現在)

女性比率 32.4% <P. 25 グラフ参照>

令和3年度と比較すると +2.0%ではあるが、各種審議会の中に女性委員がない審議会があるので、引き続き女性の登用を勧奨していく。

(2) 令和4年度第1回男女共同参画推進審議会事前質問一覧  
(事務局より資料に基づき説明)

会長：

ただいまの説明に関してご意見、ご質問等があればお願いします。

委員：

P. 14 No. 8 疾病予防と健康づくりのHIVワクチン接種勧奨の方法について

子宮頸がんワクチン接種の副作用で厚労省が一時期積極的な接種勧奨を止めた期間があるが、子宮頸がんを予防する意味でワクチン接種を勧めていかなければいけないという専門家もいる。本市の対応としては積極的に接種を推奨するべきと考えているのか。それとも積極的な接種は止めるような立場をとっているのか。現状を教えてください。

課長：

以前は定期接種の対象になって、たくさんの方が接種されていたが、副作用の関係で国から積極的な接種勧奨をしない、との通知がでていた。

国から安全性が確認されたということで、接種勧奨を始める、としている。市の方も令和3年度は個別勧奨を行い、本年度は、定期接種の対象者へ情報提供と個別勧奨を行った。

委員：

国の方で安全性が担保されて、以前と同じように接種するように、と理解していいか。

副会長：

県から推奨するように、といわれている。

委員：

P. 4 No.7 妊娠期から子育てもの切れ目ない支援について

「産科医療機関と共有を図り・・・」とあるが玉野市に産科医療機関はあるのか。今度、三井病院と市民病院がひとつになって新しい病院ができるが、産婦人科ではなく、産科がある病院を造っていただけるのか。気になっている。現在の玉野市は、産婦人科はあっても入院設備がないように思う。片山産婦人科は入院設備がない。市民病院はよくわからないが・・・。

「適切な支援につなげていく」とあるが、大丈夫なのか、と思う。女性の結婚年齢が遅くなり、出産も年齢が高くなっている。たくさん子どもを産んでください、と言っているが、ちゃんとした受け入れ先がないのが心配だ。

課長：

玉野市内には産科医療機関がないので、岡山市内とか倉敷市とか近隣の市町村の産科医療機関と共有している。

委員：

玉野市で産むことはできないのか。わざわざ、玉野市内の人が他市へ行って産むのではなく、玉野市でそういうことはできないのか。これから病院ができるのに際して、なんとか医師を確保すると安心できるのではないかと、思う。

事務局：

産婦人科は、おっしゃるとおり、厳しい状況にある。新病院の開設に向け、医師確保のために市長はじめ病院関係者が基幹病院の岡山大学へ依頼の訪問に行っている。

病院側の話では、現在の産婦人科は、診療科をもつために医師を最低3人準備する必要がある、と聞いている。また、ドクターになろうとする方で産婦人科医を希望する方も少ない現状で、玉野市の規模の病院に産婦人科を作るには厳しい、と聞いている。

出産に関して周産期医療を踏まえ、いろいろな想定もあり、無事に生まれる出産があるなか手術が必要な場合もあり、そのような場合を考え、医師を大病院に集中させたいという病院側の方針があるため、何度も依頼はしているが、新市民病院に必ずできます、とはっきりしたことはいえない、と市長から聞いている。

委員

概要 P. 16 性的マイノリティが生活しやすい環境の整備について

LGBTQの人、性的少数者の割合は、いろいろな調査があるが、調べたところ約1割だということで結構な割合になると思う。そのような方が、なかなか自分を出せないで悶々としている。どうカミングアウトするかが問題なのですが・・・。

これは聞いたのですが、性的少数者の人が市役所などに相談に行ったときにアライ (ally) 研修を受け、性的少数者の理解者ということを証明する缶バッジをつけていた人がいた。缶バッジをつけているとわかりやすいので相談しやすかった、という話だった。岡山市などは、器が大きいので進んでいるそうだが、玉野市でも窓口業務の職員を中心にアライ研修をしてみ

かどうか、要望する。料金的には、調べたところあまり掛からないということなので検討していただきたい。

事前質問一覧 P. 6 No.11 女性の施策方針の決定の場への参画状況について

日本の場合、ご存じのように世帯で男女の格差が極端に大きい。毎年、スイスの世界経済フォーラムというところが7月中旬に発表するが、本年度は、世界146カ国のうち日本は、116位で先進国の中で最下位。教育、健康、経済参画、政治参画の4項目。教育、健康は遅れていないが、極端に遅れているのが、経済参画と政治参画。まず意思決定がない。女性がいないということだ。

先程説明があった概要の P. 22~P. 25 の一覧表でも女性の比率が低い。意思決定の場に女性が参加をするかどうかということは女性の視点でものが考えられるかどうかだ。0%のところもある。そういうところは、男性の目線でしか話ができない、ということが考えられる。グラフでも示されているが、上がったたり下がったり、停滞したりしている。いろいろな条件があっても一概に言えないが、気になるので目標を達成するような形で進めたい。ほしい。

回答のところに書いてあるが、なぜ女性の人材が少ないか、で、管理職になることをためらう、とあるが、私は、基本的に家庭での生活の中で男女の役割分担を育児、家事、介護も含めてきちっとできていないところにこの点の問題があるのではないかと思う。真に男女が平等になるように玉野市でも取り組んでいってもらいたい。

委員：

先程アライ (ally) という言葉が出たが、市役所、役所などに理解者、気軽に尋ねられる人が必要だと思う。それは性的少数者だけに限らず、地域の妊婦も同じように感じていると思う。こういう審議会に参加しているみなさんこそ、思いがあると思うが、会議の場になると言い辛かったり、実生活の中でいろいろ感じていてもそれを実際声に上げることの難しさをどうやって伝えていけばいいのか、悩むところ。多様な個性のあり方というものが認められる世の中になってほしいと思っている。缶バッチでそういう人を認めますよ、というインパクトを与えることで、市役所に気軽に行けるようになったな、と感じてもらえれば安心した地域社会になっていくと思う。

園部さんが市民病院に産婦人科を、という話をされたが、女性が、地域社会に不安があるというのも地域社会の中に繋がりがなかったり、理解者がいなかったりすること、また、人間関係の希薄さというものにも繋がっていると思うので、こういう場でいかにも難しい言葉で論じるのではなく、みなさんが実生活の中で感じている、こういうことに困っているんです、というようなことを共有できる場にしていけたらと思う。

目標としては、男女参画という大きな目標であったとしても、まず一步一步、気軽に話せる場をつくる、ということから、始めていくことが必要ではないかと思う。

(3) 男女共同参画担当課の令和3年度の実施計画

(事務局より資料に基づき説明)

概要 P. 26

(1) 次期男女共同参画プラン策定

国や県の計画と玉野市総合計画との整合性を図りながら、令和2年度と令和3年度の2年にかけて実施したアンケート調査と地域の意見を反映させた「第5次たまの男女共同参画プラン」を昨年度策定したものの。

(2) 玉野市男女共同参画推進審議会

本日開催している次第のもの。令和3年度は次のとおり、3回開催しており「第5次たまの男女共同参画プラン」について審議をしたもの。

P. 26

(4) 玉野市の男女共同参画推進のための啓発事業

男女の役割に関する固定的意識の解消を図るため、さまざまな機会をとらえて市民意識の啓発をはかっているもの。

① たまの参画フェア2021は、新型コロナウイルスにより、中止。

② 男女共同参画パネル展

昨年度、6月に市役所1階の展示コーナーで男女共同参画漫画パネル、DV防止パネルの展示を実施した。

③ 男女共同参画講座

昨年度11月、日の出ふれあい会館において、SDGsの17の目標のうち5番目の目標のうち「ジェンダー平等を実現しよう」というテーマの講演会や男性の育児を推進する子育て応援講座を開催するなど啓発事業を実施している。

P. 28

④ 玉野市女性団体連絡協議会の活動支援

現在、10の団体で構成されている。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されている状況。

P. 29

⑤ 男女共同参画社会の実現の促進に関する事業者表彰について

男女共同参画社会実現の促進について積極的な取組のある事業者を例年表彰しているもの。例年は、6月の男女共同参画週間に開催する「たまの参画フェア」において表彰を行っているが、今年度は、新型コロナウイルスの影響で「たまの参画フェア」が中止だったため、この場で今年度の表彰者、三協鋳螺様の表彰式を行った。

P. 30

(5) DV対応・相談事業

① 男女共同参画の日常相談

女性相談員2名で行っている。

令和3年度の実績 相談のべ件数 77件、うちDV関係 46件

相談内容 DV、離婚等の相談が例年同様に多い状況。

P. 30

② 男女共同参画の法律相談

離婚問題など専門的な知識が必要な相談については弁護士による法律相談を毎月実施している。令和3年度の相談のべ件数は17件のうちDV関係は7件。

③玉野市共同参画相談支援センターネットワーク会議

各機関で構成されたネットワーク会議で令和3年度は新型コロナウイルスで中止。

④ 本庁における対応状況

令和3年度 6件

⑤ 玉野市男女共同参画支援センターのPR

⑥ 女性に対する暴力をなくす運動（パープルリボンプロジェクト）

(4) 男女共同参画担当課の令和3年度の取組み

(事務局より資料に基づき説明)

P.3.2 (1) 男女行動参画プランの推進

昨年度策定した「第5次たまの男女共同参画プラン」に基づいて実施する。

(2) 啓発事業

①玉野参画フェア2022、新型コロナウイルスの影響により、フェアは中止したが、7月2日(土)中央公民館で「コロナ禍から家庭内の男女平等を考える」と題した講演会を実施した。

②男女共同参画パネル展示

講演会に合わせて、6月28日～7月3日に中央公民館ギャラリーで行った。

P.3.3 (3) DV対応・相談事業

①男女共同参画の日常相談

②男女共同参画の法律相談

今年度4月から玉野男女共同参画相談支援センターが、奥玉にあるすこやかセンター内に移転して、引き続き行っている。

その他は、昨年度に引き続き実施している。

会長：

ただいまの説明に関してご意見、ご質問等があればお願いします。

委員：

令和3年度は、参画フェアは中止になったが、男女共同参画講座を日の出ふれあい会館で11月に行っている。また、子育て応援講座「パパやおじいちゃんと一緒にクリスマスツリーを作ろう」を12月に行っているが、令和4年度は何か計画があるか。

事務局：

参画フェアは、中止になったが、③男女共同参画講座は、7月22日産業振興ビルにおいて、心理学と脳科学の観点から男女の知識や構造の違いの講演会を実施した。

子育て応援講座は、7月24日に実施。2回目は12月に予定している。その他のものも例

年どおり引き続き実施していく。

委員：

先ほどの男女の格差の話の中に世界 146 カ国のうちの 116 位という、先進国の中でこのような数字でいいのか、と考える。玉野市のもっと女性が活躍してほしい。そうすると社会が変わるのではないか。

7. 閉会の挨拶：(副会長)

8. 閉会